

講 評

公募の結果、2者から提案があった。

最優秀と評価した事業者の提案は、必須項目であるサービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護の指定を含む）に加え、認知症高齢者グループホームや訪問介護事業所、デイサービスの整備・運営を行うものとなっており、豊富な施設運営の実績を活かした、入居者や利用者のニーズに応じて幅広く対応できる内容であった。

持続可能なまちづくりに関しては、入居者に対する自宅の活用・処分相談の実施、環境負荷を軽減した施設整備、災害時の福祉避難所としての提供などの提案があり、実現可能性が高く、効果が期待できる内容であった。

地域コミュニティの醸成に関しては、施設内に交流ホール・学習塾・子育て支援施設を整備するとともに、入居者や地域住民との交流イベントを実施する提案があり、こどもから高齢者まで、日常的に多世代の交流が期待できる内容であった。

また、壁面緑化や既存擁壁の撤去による圧迫感の低減や周辺住民も利用しやすい動線の確保など、周辺環境や景観へ配慮した建築計画であった。

施設運営やイベント開催の際には、日常的に地域と連携・協力を行いつつ、こどもから高齢者まで、生涯住み続けられる多世代共生のまちの実現に向け、より一層の工夫を期待する。

なお、次点となった事業者の提案は、募集要項に沿った魅力的な内容であり、特に地域コミュニティの醸成について優れていたが、高齢者施設等の整備・運営や持続可能なまちづくりに関する提案については、最優秀となった事業者の方が上回る内容であった。

令和6年11月25日

名谷こすもす幼稚園跡地活用事業者選定委員会